

2009年11月24日

出張報告書

京都FD開発推進センター

川面 きよ

日程：2009年11月21日(土) 13:00～17:30
行事名：第3回大学セミナーハウスFD研究会「FD組織化の現状と課題」
主催：大学セミナーハウス・日本大学FD推進センター
出張先：日本大学本部（東京都千代田区九段南4-8-24）
参加者：深野・川面（報告）

プログラム

＜基調講演＞ 司会：大学セミナーハウス館長 荻上統一

「FD組織化の現状と課題」

文部科学省高等教育局大学大学改革推進室長 今泉柔剛

＜事例報告と討論＞司会：日本大学FD推進室長 勝山進

1. 「FDネットワークの可能性-山形大学の事例-」
山形大学高等教育研究企画センター教授 小田隆治
2. 「FDの組織化と実質化-立命館大学の事例-」
立命館大学教育開発推進機構教授 安岡高志
3. 討論：コーディネーター 日本大学FD推進センター長 勝山進

総括・所感

第3回を数える大学セミナーハウス主催のFD研究会では、文部科学省から今泉柔剛氏を招いての「FDの組織化の現状と課題」と題した基調講演と続いて山形大学の小田隆治氏と立命館大学の安岡高志氏から、FD組織化の方策と実質化をめぐる事例報告および全体討論が行われた。

文部科学省の今泉氏の講演では、文部科学省が目標とする「大学の教育・研究の質の向上」のためには大学間でのリソースの有効活用や補完が必要だとし、そのための方策として「大学間連携」の動きが重要だという認識が示された。

今後の課題としては「いかにFDの実質化を行うか」「いかにFDの実質化のための条件整備を行うか」が挙げられた。その中の一つの取組としてFDに関する恒常的な地域拠点（リージョナルセンター）の設置を検討していく方針であるとのことであった。また大学改革のキーパーソンは事務職員だとして、事務職員の職能開発の重要性、組織体制の整備の必要性が強調されていたことが印象的であった。

事例報告での立命館大学、山形大学での発表は、それぞれ公私の別、取組に至る経緯が違うが、先行事例として参考にすべき点が多々あると感じた。また全体討論においても活発な意見交換が行われた。

講演の最後に、現在行われている行政刷新会議で「大学の先端的取り組み支援」が事業仕訳の対象となっているが、さらなる大学間連携活動の推進が可能となるために、しっかりと重要性を理解してもらえるような説明を行うとの発言が今泉氏から出たことは非常に心強く、今後の活動のさらなる推進に向け、思いを新たにしたい。

以上